

つうゆうだより

NO.1

子ども同士で遊ぶ

管理者 小野基司

7月に開設したチャイルドステーションつうゆうの営業は早3か月弱が過ぎました。ご利用いただいている皆様に心より感謝申し上げます。

子どもはみんな子ども同士で遊ぶのが好きですね。そういう様子がつうゆうで見られます。小学校中学年以上だと、職員をチラッと見ているでしょうが、とにかく自分たちで遊ぶことにまっすぐ向かっていきます。年少の子どもであれば、年上の子どもたちがすることを見て学んでいきます。小学校高学年になると、自分たちのことは自分たちで決めて全く自主的な活動を行います。これは発達する上でとても大切なことです。ルールを学んでいきます。自分をコントロールする力をつけていきます。お互いに学んでいきます。なによりも、楽しいので満足できます。満足できるとあれやこれやと不平を言うことが少なくなっていくと思います。こんなにうまくはいかないでしょうが、とにかくつうゆうでは子ども同士で遊ぶ姿があります。これは、子どもたちが放課後に過ごす本来の姿だと思います。

チャイルドステーションつうゆうは、子どもそれぞれの特徴に応じた専門性の高い支援を目指します。同時に、このように、子どもたちが自然に持つ要求も大切にしていきます。

子どもたちの活動紹介

つうゆうでは夏休みや普段の利用日に様々な活動が行われ、子どもたちが元気に過ごしていました。その様子を写真で紹介します。



男鹿水族館GAOの見学



県立博物館の見学



環境と文化の村で作品作り



学校の宿題



プランターの水やり



プラレール



白板に絵描き